

さこーちゃん通信

【2020年8月】
第9号



今月のごあいさつ

こんにちは！子供の頃、ニュースでアナウンサーが「遺憾の意を述べました」と言うのを聞いた際に、「いかなの『い』だけ？『かん』は言わないの？」と不思議に思っていた佐光英貴です。「遺憾」の意味がまった〜くわかっていなかったんですよね笑。

8月といえば、「山の日」ですね。山の日？と思われる方も多いでしょうが、2016年に施行され、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨の国民の祝日です。散歩を継続するのにやっとの私にとっては、山登りはまだまだハードルが高そうですね笑。

◆◆◆人をダメにするソファ◆◆◆

7月2日、娘が10歳になりました。子供の成長は本当に早いと感じるとともに、娘がいつまで私の相手をしてくれるのか・・・笑。

10歳の誕生日プレゼントのオーダーを聞いて、びっくり！てっきり、ゲームのソフトかと思いきや、「ヨギボーが欲しい！」と。

私が「ヨギボーってゲームの名前？」と聞くと、（冷たい視線で）「パパ、何を言っているの？ヨギボー知らないの？『人をダメにするソファ』だよ。」

私「???'」全く意味がわかりません笑。

「人をダメにするソファ」とは、座ったり寝転がった時の感触があまりに快適過ぎて、購入した人が次々と「ダメ人間」と化してしまう様子から、ネットで話題になったようです。

この「ダメにする力」は非常に強力で、一度座ればその柔らかな誘惑から逃れられるものは



yogiboのビーズソファ

数少ないとまで言われているようです。

さらには人間だけでなく、動物までも「ダメにする」ようで、猫や犬といった動物がこのソファに抗えず、次々に「ダメ」にされてしまった画像がSNSに投稿されているようです。

娘がこのような快適グッズを欲しがるとは想像していませんでした。ただ、コロナ禍で自宅で過ごす時間が増え、「家族みんなが快適に楽しく過ごせるように」と考えたのかな〜と思い、私がソファに身を委ねようとすると、「パパ、それは私のものだから、許可が必要です！」って。

1/2成人式を迎え、すっかり家庭内では真ん中のポジションに居座る娘なのでした〜笑。



ダメになった人です笑

「さこーちゃん通信」は佐光に関わりのある方や、ご縁のあった方に不定期で送付しております！手渡しで受け取った方で、「定期購読希望！」という方は、お気軽に連絡をくださいね。



ラインの登録大歓迎です！

佐光 英貴 さこう ひでたか

携帯電話 090-2876-2283

メールアドレス hidesako7447@gmail.com

LINE ID hidesako7447

住所 〒007-0846
札幌市東区北46条東15丁目1-24



LINE登録用



電話帳登録用



ホームページ



Facebook

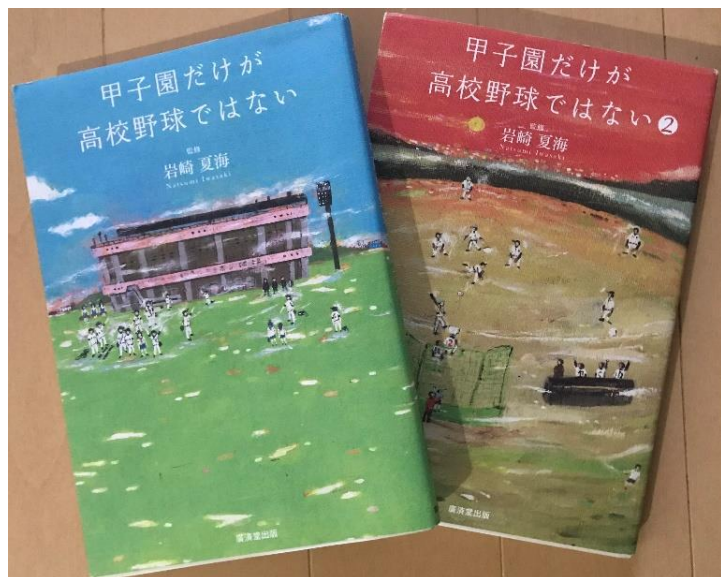
♥♥♥野球好き♥♥♥ 今回のテーマ「甲子園だけが高校野球ではない」

野球をこよなく愛するさこーちゃんが、野球をテーマに好き勝手に書くコーナーです。賛否両論あると思いますが、野球を愛する気持ちをお汲み取りくださいませ(◡◡)

今回のテーマは、「甲子園だけが高校野球ではない」です。

さこーちゃん通信第7号【2020年6月】にて、夏の甲子園中止について書きましたが、「高校3年生たちはどのように気持ちの整理をするのだろうか」と考えている時、ふと、「甲子園だけが高校野球ではない」という言葉が思い浮かびました。

実はこれ、本のタイトルです。監修は、「もしも高校野球のマネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」がミリオンセラーとなった岩崎夏海さんです。



息子が小学6年の時に買い与えました
(たぶん読んでくれたはずですが笑)

本書は、頑張ったけれども甲子園に行けなかった球児やその家族、マネージャーなど、様々な人々の「高校野球」にまつわる実話が短編になっています。プロのスポーツライターの方々が全国各地で取材したものを岩崎氏が監修しています。

- ・病気やケガで野球ができなくなった球児の葛藤
 - ・家族の支えがあったからこそ野球ができていたと知った球児の想い
 - ・陰ながら球児を支えているマネージャーの想い
- などなど、実話だからこそ胸に熱く響くストーリーばかりです。



息子がプレーする姿を応援したいという親心はあるものの...

高校球児は全員「野球が好き」であることは間違いないと思います。ただ、野球を通じて、何を目標とするかは様々でしょうし、その目標に良し悪しはないと思います。

- ・憧れの甲子園でプレーすること
- ・仲間と一緒に野球を楽しむこと
- ・一生楽しめるスポーツ（趣味）を続けること
- ・人間形成の一貫として野球をすること など

しかし、野球はチームスポーツですから、個人の目標がバラバラだと、野球を楽しむことができなくなるでしょう。だから、一番わかりやすく、納得感が高い目標が「甲子園を目指す」なのだと思います。

一方で、甲子園を目指す出場校数は約3,700校ありますが、勝ち残るのはたった1校で、残りは必ず「負け」て高校野球を終えることになります。この「負け」を経験するために、「甲子園を目指す」ともいえるのですが、これが高校野球の素晴らしさなのだと私は思います。

人生って、失敗、つまり「負け」の連続ですよ。目標を成し遂げるために、一人ではなく、仲間、指導者、マネージャー、家族に支えられながら、野球に向き合っていく。その中で、「負け」を経験し、様々な学びを得るのだと思います。きっと、勝ちよりも負けの中にこそ学び、成長させられるものなのだと思います。

だからこそ、高校野球には魅力が満載なのだと思うのです。



通称「もしドラ」10年前に話題になりましたね

読書好きのさこーちゃんがおススメする本を紹介するコーナーです。

今回の本は、吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」です。



新装版



マンガ版

昭和12年発刊の本ですが、ジャーナリストの池上彰氏、コピーライターの糸井重里氏らが絶賛したことでブームになりました。また、ジブリの宮崎駿監督が映画化することも発表しています。2023年頃に公開されるとの噂です。

あらすじは、中学2年生の本田潤一君（コペル君）が、日常生活で直面するさまざまな問題を通して、母方の叔父さんと、生き方を考えて成長していく物語です。

この物語のポイントを6つお伝えしますね。少しネタバレになりますので、これから読みたいと思う方は、あしからず…。

①ものの見方について

コペルニクスが地動説を唱えるまで、誰もが天動説を信じて疑わなかったように、コペル君は、自己中心的な見方から「世の中の流れの中の一人が自分である」と見方を転換します。

②クラスのいじめにどう対応するか

クラスでいじめられている友達を見た時、あなたはどのような行動をとるでしょうか？一緒にいじめるといふ選択肢はないでしょう。見て見ぬふりをするか、助けるかです。

「他人から教えられた立派な言動をとっても、立派に見えるだけの人になってしまう。自分の体験から出発して、自分で考えた立派な言動をとるべきだ。」ということをお教えしてくれます。

③人間同士のつながりについて

コペル君は、オーストラリアで作られた粉ミルクの缶を通して、見ず知らずの人と助け合っていることに気づきます。これを「生産関係」と説明してくれます。

また、人類にとって役立ち、尊敬される発見をするためには、現在の学問を全て学び、探求心を忘れてはならないと教えてくれます。

④貧乏について

貧しい人に対しては見下し、金持ちにはペコペコする。このように人間の価値を貧富で判断する人は、軽蔑に値すると教えてくれます。

そして、ものを生み出す人間が立派であり、何も生産していない中学2年生のコペル君も、日々大きなものを生み出しているといひます。

⑤偉大な人間とは

ナポレオンの生き様を通して、偉大な人物とは、人類の進歩に役だった人だと教えてくれます。同時に、人類の進歩に結びつかない強さも虚しいが、世の中には力のない善良な人々が多いことをほのめかします。

⑥友人への裏切りについて

コペル君は、友達がいじめられた時に助けるといふ約束を破り、友達を裏切ってしまいます。その罪悪感と、裏切ってしまった友達とどう接していいかわからず、不登校になります。その際の叔父さんからの手紙には、「人間の苦しみとは、本来あるべき状態から外れた時に生じ、人間の偉大さとは、本来あるべき状態へ向かうことにある」と教えてくれます。

戦前の本ですが、日本人としての在り方について考えさせられる良書だと思いますよ～。

◆◆◆お仕事紹介(1/3)◆◆◆

さこーちゃんのまわりで活躍している方を紹介するコーナーです。

今回は札幌市中央区にあります「税理士法人 明正会計」の代表税理士の山本正幸さんに話を伺ってきました（取材日：7月9日）。

山本さんとは7年程前、私の高校同級生で社会保険労務士のH君からの紹介でお付き合いが始まりました。

※H君もこちらのコーナーにも登場するかも？お楽しみに！

山本さんはこの写真からもわかる通り、「温厚」「実直」な方です。私より4歳若いですが、いつも勉強させていただいております。

お客様に寄り添った仕事がモットーである山本さん。

ではでは、インタビューをお楽しみくださいませ～。



【佐光】 こんにちは！早速ですが、[仕事の内容について教えていただけますか？](#)

【正幸さん】 札幌市中央区で代表税理士として税理士事務所を運営しています。お客様から領収書、請求書をお預かりして整理後、帳簿会計データの入力といった本来の税理士業務を行い、さらにお客様のご要望により決算シミュレーション作業を行います。決算シミュレーションから発展させた確定申告の代行をします。会社設立当初からの会計関与を行ない、税理士のセカンドオピニオンとしてのアドバイスや税理士変更にも対応しています。

また、近年増加しているクラウド会計も積極的に活用しています。

【佐光】 そうですよ。また、[「札幌創業融資サポートプラザ」](#)も運営されていますよね？

【正幸さん】 はい、着手金無料でお手伝いしています。創業・開業時の資金調達には、基本的に日本政策金融公庫の創業融資の活用をお勧めしています。手続きを一貫してお手伝いしています。

佐光さんには、いつも銀行融資について相談に乗っていただき、ありがとうございます。

【佐光】 私の銀行時代の経験と知識、ネットワークがお役に立てて嬉しいです。さて、[どうやって今の仕事に就いたのですか？](#)

【正幸さん】 高校卒業後、簿記の専門学校に通った後、スポーツ用品メーカーに就職しました。2年程勤務した頃、札幌の営業所が閉鎖されることになり、

退職することになりました。その後は、いわゆる「フリーター」ですね。カラオケボックスなど様々なバイトをやりましたね。

【佐光】 え～、そうだったのですね。初めから税理士を目指していたのではないのですか。それから？

【正幸さん】 そうなんです笑。で、あるバイトをした際、バイト代がもらえなくて…。頭にきて、労働基準監督署に行ったんですよ。それで、職員の方が私に対して、「**弱い人をイジめるなんて、ひどい会社ですね。**」と言ったのです。その時、「**私って弱い人？**」「**世間では私のことを弱者と思っているの？**」とハンマーで頭を叩かれたような衝撃を受けました。そして、「**しっかりと自分で生きる力をつけなきゃダメだ！**」と強く思いました。

それから、バイトをしながら大原簿記専門学校に通い、税理士資格取得に向けた勉強をスタートさせました。25歳の時ですね。

【佐光】 そうでしたか～。税理士資格は、会計学（必須2科目）と税法（選択3科目）の5科目合格で資格取得となりますよね？

【正幸さん】 はい、その通りです。2科目合格した27歳の時、某会計事務所に就職しました。外勤の仕事をしてながら勉強を続け、33歳で税理士資格を取得しました。そして、2012年8月に「山本正幸税理士事務所」を開業し、2017年10月から「税理士法人 明正会計」に法人成りし、現在に至ります。

◆◆◆お仕事紹介（2/3）◆◆◆



明正会計の皆さん いつもお世話になっております！

【佐光】税理士になるまでに多くの苦勞をされてきたのですね。では、税理士の仕事の一番のやりがいは何ですか？

【正幸さん】お客様と顔と顔を付け合わせ、きっちり議論し、お互い納得できる結論を導き出すことができた時は、やりがいを感じることができますね。

そして、お客様が上手くいった時には一緒に喜び、上手くいかなかった時は一緒に改善策を話し合う。お客様とこういった関係を築けると、やりがいを感じますね。

【佐光】そうですね。私も保険でお客様のお役に立てることはもちろんですが、お金まわりの相談に応じて、お客様ときちんと話し合った結果、解決策を導き出した時には、「この仕事をしていて良かったな～」と思います。他の税理士との一番の違いは何ですか？

【正幸さん】まずは、**私やスタッフが必ず対面でお客様ときちんと話し合う体制になっていること**ですね。また、先程も触れましたが、**資金調達（銀行借入）が必要なお客様にはしっかりと関わり、お手伝いをする**ことですね。

【佐光】銀行の立場としては、顧問税理士がお客様の財務状況を教えてくれると、スピード感をもって案件を進められるので助かると思いますよ。また、いわゆる「粉飾決算」もないでしょうからね笑。では、もし絶対に失敗しない保証があるなら、やってみみたい仕事は何ですか？

【正幸さん】う～ん、難しい質問ですね～。ある意味では、失敗があるからこそ楽しく仕事ができると思うのですが…。強いて言うと、「**1日で完結する仕事**」をしてみたいですね。我々の仕事は、ずっと続く仕事ですから。「1日で完結する仕事」だと、気持ちが楽になるのかな～とも。単に、隣の芝生は青く見えるってことかもしれませんがね笑。

【佐光】その気持ちは私もわかります。1日の区切りをつけるのが難しい時ってありますよね。若い頃は、その区切りの付け方が下手で、明日のことを考えるとなかなか寝付けなくてことも多々ありました。では、仕事で体験した中で、一番おかしな出来事、笑えた出来事はありますか？

【正幸さん】今となっては笑える話ですが…。2年前に、お客様を訪問する途中で、車にはねられたことですかね。7～8mくらい飛ばされました。大腿骨と肋骨の骨折だけで済んだので、不幸中の幸いでした。

【佐光】あ！そうでした。あの時はびっくりしました。事故から3日後に病院にお見舞いに行きましたが、思ったよりも元気だったので、ほっとしたのを覚えています笑。では、ご自身の仕事をPRするのに、一番効果的だと思う方法は何ですか？

【正幸さん】**私とスタッフがお客様としっかりとコミュニケーションをとること**だと思います。お客様との関係性が良好であれば、新たなお客様をご紹介いただくこともありますから。

【佐光】それはめっちゃくちゃ共感ですね！



明正会計のみなさん お仕事の様子

◆◆◆お仕事紹介(3/3)◆◆◆

【佐光】最後に読者のみなさんにひとこと。

【正幸さん】取材していただき、ありがとうございました。銀行出身の佐光さんには、銀行との折衝について相談させてもらおうと、いつも的確なアドバイスをくれるので、社員一同いつも感謝しています。

皆さんも保険のことはもちろんですが、佐光さんはお金に関する知識の幅が広いので、皆さんも気軽に相談しちゃうといいと思いますよ笑。

【佐光】そんなに褒めてもらおうと照れますね笑。こちらこそ、お客様をご紹介いただき感謝しています。今後も明正会計の皆さんと連携させていただき、お客様に貢献できればと思っています。

山本先生、本日はありがとうございました！



■■■インタビューを終えて■■■

20代の頃は、大変苦労された山本先生。バイト生活をしていた頃、世間から弱者とされていたことに発奮して税理士になられたことから、事業に対して懸命に日々努力されているお客様に対して真摯に向き合うことができるのだと感じました。

私のこれまでの経験上、税理士の仕事というのは、「適正な税務申告を行なうこと」だと思っています。ただ、これは間違いではないと思うのですが、これしか考えていない、やらない税理士の方が多いとも感じています。しかし、山本先生は、「適正な税務申告」は当たり前で、それ以上の付加価値を提供してくれます。お客様にとって「事業が継続的に良くなっていくにはどうしたらよいのか？」を一緒に考えてくれます。

「経営者は孤独」とよく言われます。内部にも外部にも、なかなか相談できないことがあると思います。山本先生をはじめ明正会計の皆さんは、本当に親身になって相談に応じてくれますよ。もちろん、私も含めてサポート体制も整っています。

事業をやられている方、これから事業を始めたいと検討されている方、法人・個人を問わず、お気軽に相談していただければと思います。

「**明**るい未来のために、**正**しい方向に導く」サポートが得られますよ。

税理士法人 明正会計

札幌創業融資サポートプラザ

代表税理士 山本 正幸

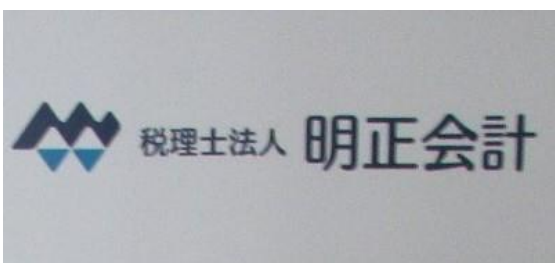
●税理士 4名 ●行政書士 1名

●スタッフ 10名

◆電話 011-676-4385

◆札幌市中央区北5条西24丁目3-1カレラ円山4階

◆営業時間 平日9:00~18:00



税理士法人
明正会計H.P



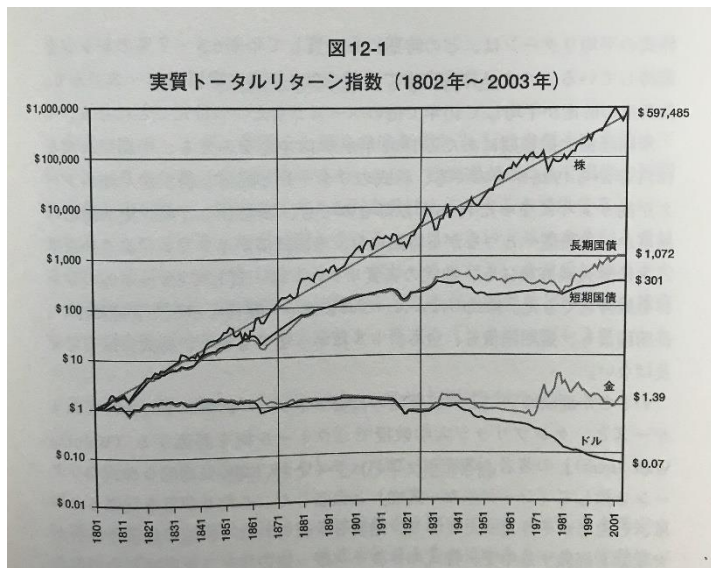
札幌創業融資
サポートプラザH.P

◆◆◆知らなきゃ損！でも、どう判断する?!◆◆◆

金融業界23年目のさこーちゃんが、皆さんに知って欲しいお金の情報をお伝えするコーナー「知らなきゃ損！でも、どう判断する?!」です。

今回は「**長期株式投資をオススメする理由~その2**」前回の続きになります。

前回、「長期なら株式投資が最も報われる」「過去200年間では米国株式が最も上昇している」点についてお伝えしました。



「株式投資の未来」195ページより

さらに注目すべき点は、**期間を長期的にとれば、米国株式の平均リターンは、どの時期にも一貫して年率6.5~7%の範囲を維持している**ということです。つまり、米国株式市場がどんな状況であろうと、長期で平均6.5~7%へ回帰していることになります。

1929年のウォール街大暴落、1979年のニクソンショック、1987年のブラックマンデー、2001年のITバブル、2009年のリーマンショック、そして今回のコロナショック…。こうした様々な大暴落を繰り返しながらも、米国株式の投資リターンは長い年月をかけて6.5~7%の平均リターンに回帰しているのです。

また、米国株式市場では過去200年間、投資家の財産が平均して10年で倍のペースで増え続けたことになります。

因みに、「72の法則」で計算すると、 $72 \div 6.5 \sim 7 = 10.3 \sim 11$ 年になりますね。

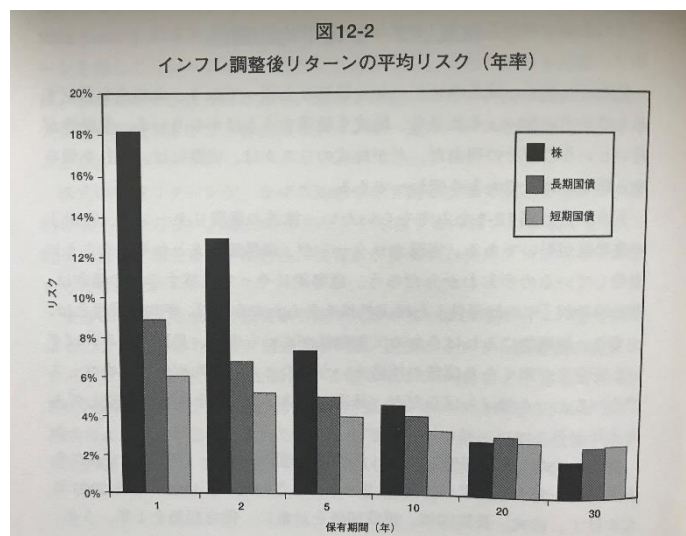
72の法則とは・・・

投資元本が2倍になる期間がわかる計算式。

「 $72 \div \text{金利} = \text{投資元本が2倍になる期間}$ 」

そして、**株式は他の資産に比べて、リターンが高い上に、長期的にはリスクが低く、長期的に投資するなら株式を中心とするのが正解といえます。**

これを立証するのが次の図になります。



「株式投資の未来」198ページより

1802年から2003年にかけて、米国株式、米国長期国債、米国短期国債を対象に、保有期間を1・2・5・10・20・30年として、インフレ調整ベースでの平均リターンのリスクを示した(標準偏差をリスクとして測定)ものです。

保有期間が短いとき、株式は明らかに債券より高いリスクを伴いますが、保有期間が長くなり、15年から20年になると、株式のリスクは債券を下回るようになります。さらに長く保有して30年を超えると、株式のリスクは、長期国債、短期国債の4分の3以下に低下します。保有期間が伸びるにつれ、株式の平均リターンのリスクは、債券のほぼ倍のペースで低下していきます。

したがって、**長期株式投資はリスクが高い投資とは言えないことがわかるかと思えます。**

今回はここまで。長期株式投資について詳しい話をお聞きになりたい方は、直接ご案内いたしますので、ご連絡くださいませ~!(^^)!

